

食品セクターアップデート



## エグゼクティブサマリー

- ディフェンシブセクター・安定的産業と見られがちな食品セクターだが、SDGs機運の高まり、未曾有の値上げラッシュ、コロナ禍における消費行動の変化、フードテック等の新興技術・商品の台頭等により、近年セクターを取り巻く環境は大きく変動している
- 係る環境下でも、日本食品企業の不断の努力による、商品の安定供給・質の維持、新商品のリリース、DX推進、コスト削減等の成果もあり、足許の上場食品企業の業績は安定・好調な企業が多く見受けられるが、セクター全体のカタリストが乏しく株価のパフォーマンスは不調、バリュエーションも低下傾向にある状況
- グローバル食品セクターのM&Aマーケットは大型買収・再編等が引続き活発に行われている中、足許の日系食品企業のM&Aはアクティブとは言えない状況である。一方で大手食品によるフードテック新興企業への投資は益々拡大しており、食品企業の投資戦略のシフトとも捉えられる
- 然しながら、日米の食品セクターのM&A動向を比較すると、両国の経済規模を加味しても、日本企業のM&A件数が著しく少ない点が観察される。M&Aが日系食品企業の成長戦略のオプションとして活用される余地が未だ多分にあるとも考えられる



## 本邦食品セクターアップデート



# 本邦食品セクターにおける2021年主要イベント

コロナ禍においても様々な新商品が市場に投入され、提携や再編の動きもニュースを騒がせた

2021年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 永谷園、賞味期限を年月表示へ</li> <li>● 大塚製菓、「ポカリスエット」ラベルレス2品投入</li> <li>● ブルドックソース、東証1部へ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日清食品EPO、海外市場における株式売却し</li> <li>● テーブルマーク、グループ生産体制の再編</li> <li>● 九州工場の閉鎖・人員削減を柱とするたばこ事業再編策を発表</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カルビーフログラが「最大のミューズリーグラノーラブランド」としてギネス世界記録認定</li> <li>● ネクストミーツの代替肉商品、イトーヨーカドーの精肉売場で販売開始</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DAN、資金調達国内最大に、植物肉で30億円超</li> <li>● 味の素、グループ各社の国内R&amp;D拠点集約</li> <li>● アサヒビール、アサヒスーパードライ生ジョッキ缶発売</li> <li>● 森永乳業、新プロテイン飲料を発売</li> <li>● 森永製菓と「ヨラブランド」コラボ</li> <li>● サントリービール、糖質ゼロの「パーフェクトサントリービール」を発売</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カルビー、北米子会社をホールディングス制に移行</li> <li>● アサヒビール、庭用生ビールサービス『THE DRAFTERS』を開始</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キッコーマン、中野新社長が就任</li> <li>● 森永乳業、大貫新社長が就任</li> <li>● シンガポールが日本産食品の輸入規制撤廃</li> <li>● 山崎製パン、「マリトッツォ」発売</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マルハニチロ、家庭用冷凍から揚げ市場に本格参入</li> <li>● 「オイルミルズ」、乳系R&amp;D市場本格参入</li> <li>● 「Viole」、ブランドの国内販売開始</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Mizkan、「ZENBU NOODLE」が発売</li> <li>● 10ヶ月で100万食突破</li> <li>● ニチレイフーズ「本格炒め炒飯」ギネス世界記録に認定</li> <li>● 森永製菓、「ヨゼリー」完全栄養食を発売</li> <li>● ロッテ、プロテインバー市場に参入</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アサヒビール、「アサヒ生ビール」(通称「マルエフ」)が復活</li> <li>● 日清シスコ、オートミール市場に参入</li> <li>● カルビー、本社オフィスリニューアル</li> <li>● 2フロアを1フロアに集約</li> <li>● 日清食品、「カップヌードル」4種のソーダ開発</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネクストミーツと吉本興業が提携</li> <li>● キッコーマン、国内調味料事業の生産体制再構築を決定</li> <li>● カルビー、「Harvest Snaps」の英国販売を開始</li> <li>● 味の素、初のSDGs債を発行</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニッポンの澤田会長長逝去</li> <li>● 日清製粉グループ本社、日清フーズの「日清製粉ウエルナ」への社名変更</li> <li>● サントリー食品、味の素の「ヨ」より「ブレンディ」ボトルコーヒー事業を承継</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サントリーEPO、国内酒類事業会社「サントリー」設立を発表</li> <li>● キリンEPO、ミヤンマーの合併解消を巡り、SACに仲裁を提起</li> </ul> 

●: 新商品・新事業 ●: 資本政策 ●: 再編・体制変更 ●: 提携 ●: 人事 ●: その他

# 本邦食品セクターの直近トレンド

コロナ禍の消費動向が終焉し足元では需要拡大による値上げが相次ぐ。国内でもFoodtechが躍進している点にも注目

1

コスト増を背景とした  
値上げラッシュ

## 前回消費税増税と同等以上の家計負担増との試算

- 世界的な需要拡大を背景とし、穀物・原油価格が高騰。食品原材料のみならず、人手不足も相まって人件費・包装資材費・物流費等も上昇。2021年の光熱費も含む値上げの民間影響は、2019/10消費税増税(8%→10%)時と同程度の4.8兆円、2022年は更なる負担増との試算もあり
- 値上げ品目は食用油に始まり、小麦粉製品、冷凍食品、調味料、菓子に至るまで、多岐に渡る

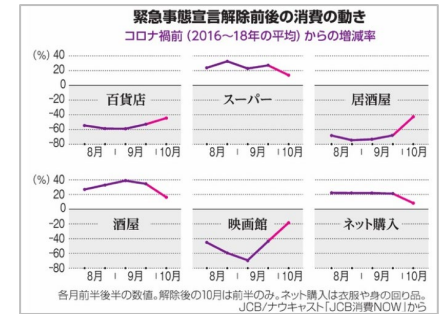
身近な商品の値上げが相次いでいる	値上げ幅(時期)	12月以降に相次ぐ主な食品の値上げ	値上げの理由
① 日清フーズ 家庭用小麦粉や パスタなど151品目	約3~9% (2022年1月4日納品分以降)	カネーやドリア、ビーフ チューなど冷凍食品の値 上げ	12月1日~
② ニッパン 家庭用小麦粉や パスタなど120品目	約1.5~9.5% (22年1月4日納品分以降)	カレーやドリア、ビーフ チューなど冷凍食品の値 上げ	12月1日~
③ 山崎製パン 食パンや菓子パン など29品目	平均7.3% (22年1月1日出荷分以降)	ファミリーなど冷凍食品の 出荷価格を約1~2%引き上げ	2022年2月1日~
④ カルビー ポテトチップスなど17品目 (じゃがりこなど 15品目は内容量変更)	約7~10% (22年1月24日以降)	家庭用冷凍食品6品を約4~ 13%、業務用7品を1~13% 引き上げ	2022年2月1日~
⑤ 吉野家 牛丼、牛カルビ丼など	牛丼並盛(店内飲食)は 387円から426円に (21年10月29日以降)	家庭用の小麦粉など120品目 の出荷価格を約1.5~9.5%引 き上げ	2022年1月4日~
⑥ キッコーマン しょうゆ164品目、 豆乳52品目	約4~10% (22年2月16日納品分以降)	300グラム以上の「オーマイ ス パッケージ」の希望小売価格を 20%引き上げ	2022年2月1日~
		「超特選」など食パンや菓子パ ン247品の出荷価格を平均 7.8%引き上げ	2022年1月1日~
		しょうゆの希望小売価格を約 4~10%引き上げ、「キッコーマ ン」でいくしょうゆ(1リット ル)は200円から400円に	2022年2月16日~
		「カラムーチョ」など菓子27品 の出荷価格を約6~11%引き 上げ	2022年2月1日~
		「ポテトチップス」など業務用 冷凍食品の出荷価格を約 7~10%引き上げ	2022年1月31日~

2

巣ごもり需要の終焉・  
アフターコロナの  
消費者動向

## アフターコロナの環境・消費者動向変化を見極める段階

- 外食・レジャーにおける消費の急回復、スーパーをはじめとした巣ごもり需要の低下等、1年半続いたコロナ禍の消費者動向も終焉の兆しあり。一方、コロナ禍と時を同じくした「SDGs」に対する関心の高まりを背景に、環境負荷・トレーサビリティ等、消費行動に恒常的な変化をもたらしたとの分析も多数
- 多くの食品企業とも、アフターコロナの消費動向の変化を見極めている段階であり、今後の経営・商品戦略に注目が集まる



3

FoodTechへの  
投資加速

## グローバルで巻き起こるフードイノベーションへ本邦企業も続々参戦

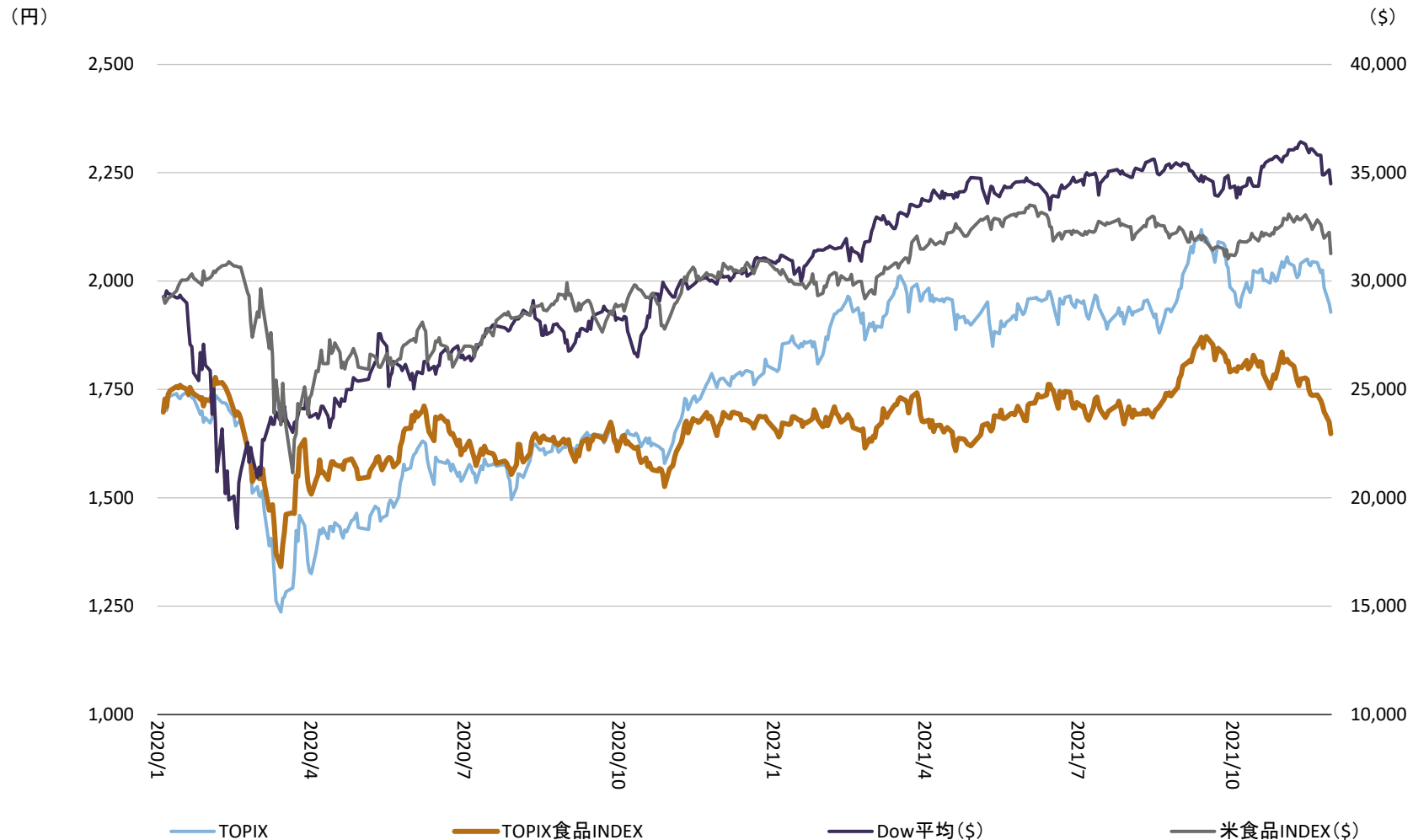
- グローバルではFoodtechをはじめとしたスタートアップ企業が台頭。大手伝統的企業による商品展開含め今や市民権を得つつあるが、日本においても、続々と大手企業とスタートアップ企業との提携が発表されている
- 植物肉を展開するDaizは、焼肉屋実店舗での提供を開始、完全食を手掛けるBASE FOODは全国ファミリーマートでの取り扱いをスタート。代替食・完全食は、物珍しさを脱却し、本格的な商業段階へ



# 本邦食品セクターのコロナ禍における株式市場動向(2020/1~2021/11)

2020年初頭のコロナ禍による急落からは緩やかな回復傾向にあるものの、2020年末以降TOPIXをアンダーパフォームするトレンドが続いている

## 食品企業の相対株価推移

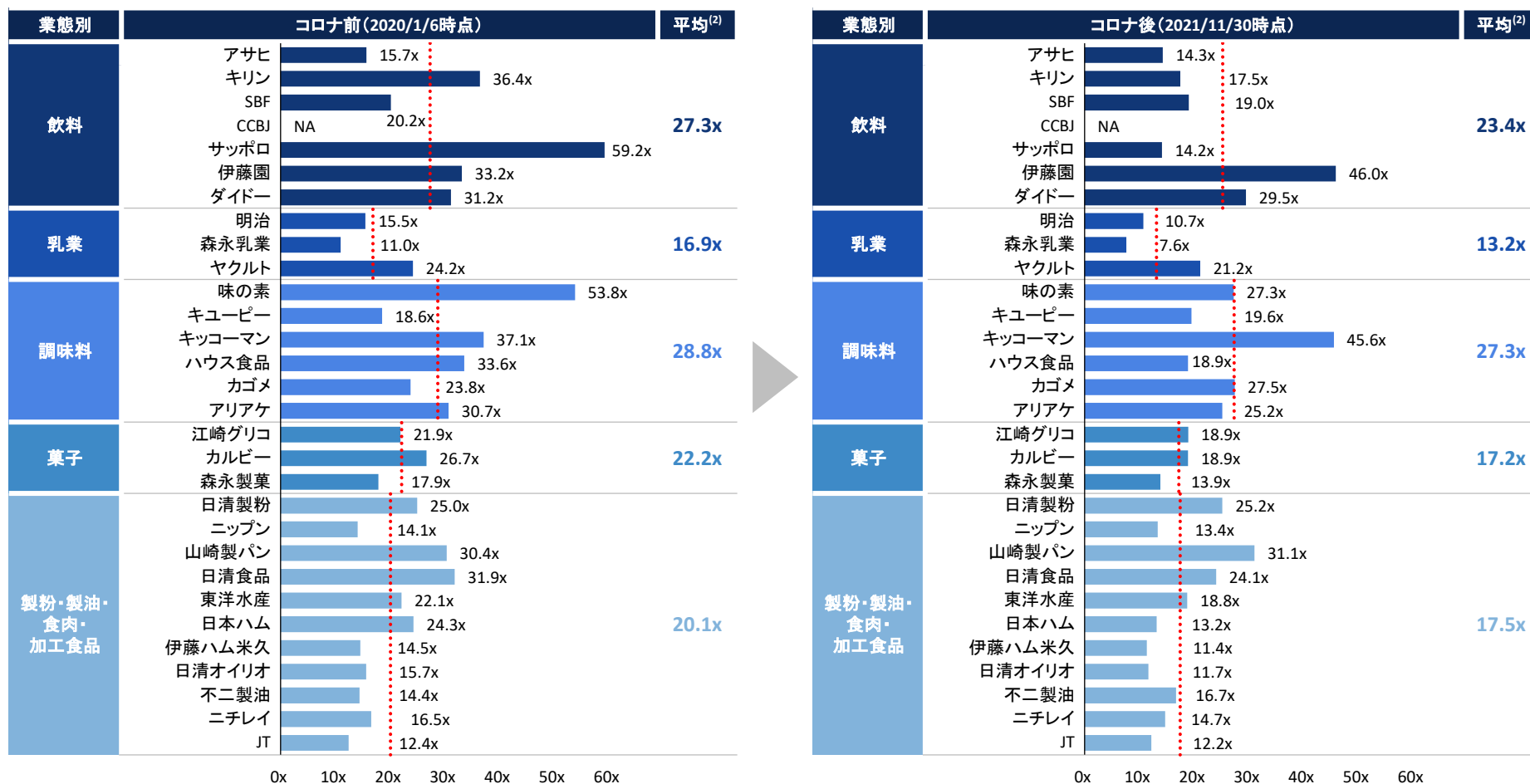


# 本邦大手食品企業のバリュエーション(PER FY+1予想)推移

株価(分子)の戻りが市場全体を下回っており、コロナ前のマルチプル水準を回復していない企業が目立つ

## 予想PER推移

2019年の2020年値予想と、2021年の2022年予想の比較<sup>(1)</sup>



Sources: SPEEDA

Note(1): 2020/1/6におけるFY+1予想PER及び、2021/11/30におけるFY+1予想PERの比較














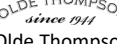




(2)CCBJIHD(2020/1/6、2021/11/30)、サッポロ(2020/1/6)、味の素(2020/1/6)は平均値から除外



## 食品セクターの直近のM&A動向



# グローバル食品セクターにおける2021年M&A取引事例

時期	買手	買手地域	ターゲット	ターゲット地域	買収価格 <sup>(1)</sup> (USD Mil)	EV / EBITDA	案件概要
2021/12	 JBS		 Pilgrim's Pride		6,457	14.2x	傘下の鶏肉大手Pilgrim's Prideの約20%の株式追加取得により完全子会社化
2021/11	 CVC Capital Partners		 Ekaterra		5,104	n.a.	Unilever はLiptonに代表されるティーブランド事業をCVCへ売却。売上倍率は2.3x
2021/11	 Hershey		 Dot's Pretzels		1,200	n.a.	ホームメイドプレッツェル製造のDot'sを売上倍率約4.4xで買収、Salty Snack事業を拡大
2021/11	 JBS		 Huon Aquaculture Group		528	n.a.	サーモン製造加工のHuon Aquaculture Groupを買収し、水産事業へ参入
2021/9	 Pilgrim's Pride		 Kerry Group		962	n.a.	Kerry Groupの英国食肉・レディーミール事業を買収し、食肉事業を強化
2021/7	 General Mills		 Tyson Foods		1,200	n.a.	Tyson Foods のペットフード事業を買収し、ペットフード事業を強化
2021/6	 Heineken		 United Breweries		5,209	93.1x	インドビール大手United Breweries 持分の追加取得(46.5%→61.5%)により支配権を取得
2021/6	 Hershey		 Lily's Sweets		425	n.a.	微糖チョコレートを製造するLily's Sweetsを買収し、BFYラインナップを強化
2021/5	 Olam Food Ingredients		 Olde Thompson		950	11.5x	西海岸ベースのPBスパイス大手のOlde Thompsonを買収、商品ポートフォリオを強化
2021/2	 Hormel Foods		 Kraft Heinz		3,350	n.a.	Kraft Heinzの「Planters」ブランド含むナッツ事業を売上倍率3.0xで買収
2021/2	 Total Produce		 Dole Food		1,615	n.a.	欧州フルーツ大手Total ProduceによるDole株式55%取得を通じた経営統合
2021/1	 Premium Brands Holdings		 Clearwater Seafoods		786	7.7x	Clearwater Seafoodsを買収し、水産ポートフォリオ及びブランドを拡充

## 本邦食品セクターにおけるM&A取引事例 (1/2)

時期	買手	ターゲット	ターゲット地域	買収価格 <sup>(1)</sup> (百万円)	EV / EBITDA	案件概要
2021/10	 亀田製菓	 Thien Ha Kameda		956	n.a.	Thien HaとのJVへの出資比率を30%から51%へ引き上げ、子会社化
2021/10	 ニチレイロジグループ	 Armir Logistyka		n.a.	n.a.	ポーランドベースの低温物流事業に従事する同社を買収し、欧州での事業拡大を企図
2021/9	 三井化学	 Meiji Seikaファルマ(農業事業)		46,700	n.a.	明治HDは傘下のMeiji Seika ファルマの農業事業をカーブアウト
2021/9	 長瀬産業	 The Ingredient House		n.a.	n.a.	高甘味度甘味料販売を行う企業を買収し、ポートフォリオ及び販売網を強化
2021/6	 UCC上島珈琲	 アートコーヒー		18	n.a.	アートコーヒーの山梨工場を買収し、肉食需要急騰に対応
2021/6	 プリマハム	 Rudi's Fine Food Pte Ltd		n.a.	n.a.	成長著しい東南アジアマーケットにおける同業を買収し、グローバル販売網を強化
2021/6	 日本水産	 Three Oceans		n.a.	n.a.	英国にて冷凍白身魚フライの生産・販売を行うThree Oceansを買収し、欧州事業を強化
2021/6	 マルハニチロ	 マリンアクセス		n.a.	n.a.	マグロ等水産物の調達、加工を行う同社の65%株式の取得により、マグロ事業の拡充
2021/5	 亀田製菓	株式会社 タイナイ タイナイ		n.a.	n.a.	タイナイの米粉パン事業を買収し、米粉製品のポートフォリオを一層強化
2021/5	 森永乳業	 Elovi Vietnam		n.a.	n.a.	ベトナムベースの飲料やヨーグルトを製造する同社を完全子会社化

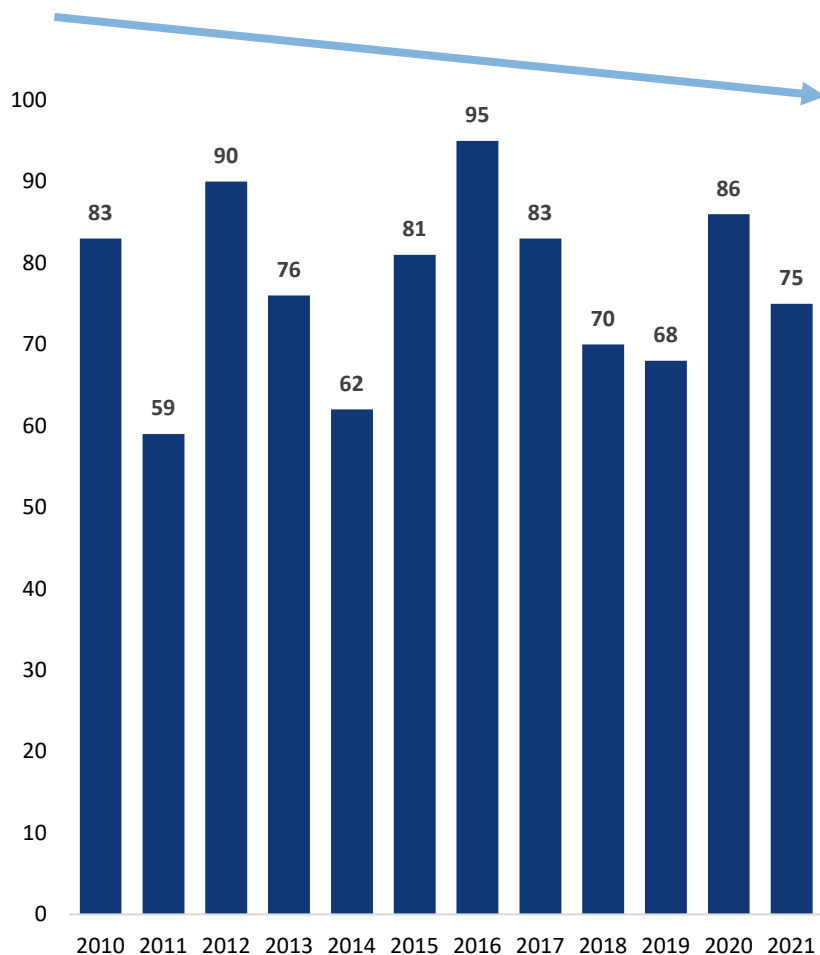
## 本邦食品セクターにおけるM&A取引事例 (2/2)

時期	買手	ターゲット	ターゲット地域	買収価格 <sup>(1)</sup> (百万円)	EV / EBITDA	案件概要
2021/2	 METabolic Explorer	 味の素アニマル・ ニュートリション・ヨーロッパ		1,933	n.a.	アセットライト計画に基づく、ノンコアである飼料用アミノ酸事業子会社のカーブアウト
2021/1	 マルハニチロ	 Sai Gon Food JSC		n.a.	n.a.	東南アジア拠点を獲得し、グローバルでの自社製品の販売網獲得とブランド拡充を企図
2020/12	 ユーグレナ	 Q-Partners Co Ltd		8,940	n.a.	CCBJIHDによる青汁等の健康食品ブランド事業のカーブアウト
2020/11	 日清食品	 湖池屋		2,255	9.0x	スナック市場にて強固な地位を持つ湖池屋の10.57%株式を追加取得し、連結子会社化
2020/11	 日本アクセス 日本アクセス	 カネ美食品株式会社 カネ美食品		2,333	5.6x	7.3%株式を取得し、惣菜等の卸売、ロジスティクス事業拡大を企図
2020/5	 昭和産業	 ポーソー油脂株式会社 ポーソー油脂		1,599	377.4x	製油業界の同業を買収することによる企業規模の拡大。業界再編の動き
2020/3	DM三井製糖ホールディングス DM三井製糖	 大日本明治製糖 大日本明治製糖		12,863	n.a.	業界1位と4位の統合。 同業他社の買収による企業規模の拡大
2020/3	DM三井製糖ホールディングス DM三井製糖	 日本甜菜製糖株式会社 日本甜菜製糖		446	7.7x	上記再編一環で、下位企業の日本甜菜製糖の株式の10%を取得し、資本業務提携
2020/3	 マルハニチロ	 大都魚類株式会社 大都魚類		2,596	14.6x	縮小マーケットの中で、同業他社を買収することで規模拡大を目指し、収益基盤を構築
2020/2	 カルビー	 ポテトかいつか ポテトかいつか		13,891	n.a.	ポテトかいつかを買収し新たにサツマイモ事業を開始し、事業ポートフォリオを拡充

# 本邦食品セクターにおけるM&Aトレンド - ①M&A件数の減少

本邦食品メーカーを対象するM&Aの件数は減少傾向、大型案件も少なく再編余地は未だ残る

本邦食品セクターにおけるM&A件数推移<sup>(1)</sup>



2019年以前の主なディール

時期	実施企業		Target所在地	買収価格 <sup>(2)</sup> (\$m)
	ターゲット	買手		
2019	ABInBev	Asahi	オーストラリア	11,320
2018	Blommer CHOCOLATE	不二製油	アメリカ	750
2017	daiya deliciously dairy-free	Otsuka	カナダ	326
2016	Pivněnský Prazdroj	Asahi	チェコ	7,774
2015	JT 自販機事業	SUNTORY	日本	1,234
2014	Beam	SUNTORY	アメリカ	15,688
2013	gsk 2飲料ブランド	SUNTORY	英国	2,122
2012	Dole 加工食品 青果物事業	ITOCHU	アメリカ	1,685
2011	SCHINCARIOL	KIRIN	ブラジル	5,060
2010	Q'SAI	Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC.	日本	751



## 本邦食品セクターにおけるM&Aトレンド - ②Foodtechベンチャーへの投資・協業

グローバルでは存在感を増すFoodtechスタートアップ企業であるが、日本においても、続々と大手企業とスタートアップ企業との提携が発表。一般消費者の目に触れる機会も急増した

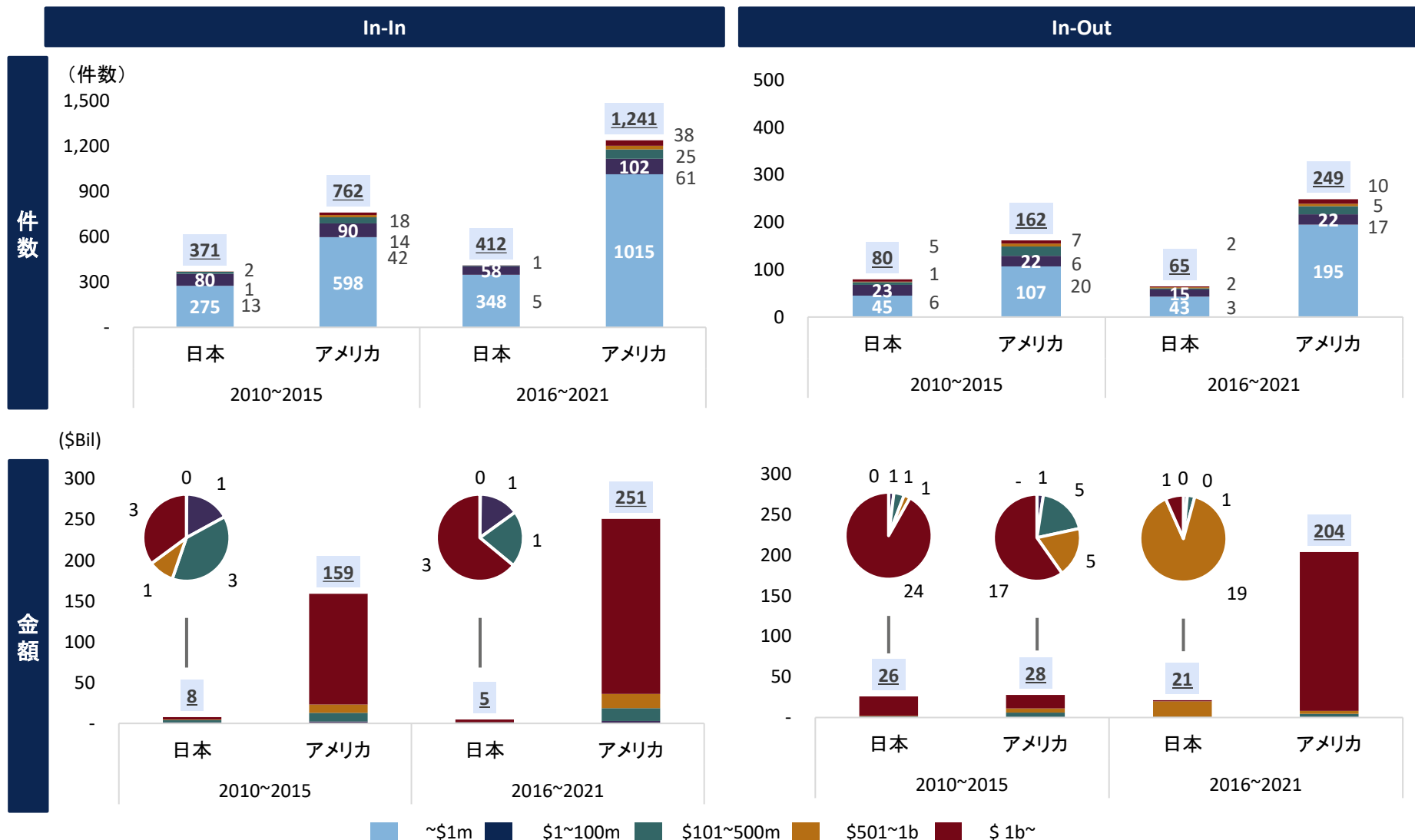
時期	大手企業	スタートアップ	提携内容	出資*
2021/8 など複数	    		<p>三井ケミカルホールディングスなど 三菱ケミカルはDAIZとの提携により、植物肉に使う油脂も独自開発し、食感の改善などにつなげることを企図</p> <p>DAIZは、同社の油脂技術を活用して商品開発を進めることを企図し、提携戦略で急成長する植物肉などの代替肉市場の需要を取り込み、新規株式公開 (IPO) も視野にしている</p> <p>丸紅 米国の植物肉市場進出に向けたマーケティングを共同で行うことを企図</p> <p>丸紅は、先進国を中心に増加するエシカル消費に対応すべく、植物肉市場への参入を検討。強固な穀物調達ネットワーク、マーケティング機能を活かした販路拡大を目指す</p> <p>ニチレイ 植物肉の商品ラインナップの拡大、供給量を増大のため生産体制確立を企図</p> <p>ニチレイフーズは、素材が持つおいしさと優れた栄養成分を兼ね備える一方で、既存の植物性たんぱく質の課題である独特な風味、食味、食感を両立するDAIZの発芽大豆を評価</p>	総額30億円
2021/7			<p>植物肉の共同開発や製品化、亀田製菓の販路を生かした拡販を企図</p> <p>Plant Based Foodが定着する米国でも、食感などは依然改良の余地あり。亀田製菓は、蓄積してきたノウハウを活用した共同開発により、主要事業の1つとして成長させたい考え</p>	総額2.5億円
2021/6			<p>日本の飲食業界の活性化及び、両社経済圏の連携により新たな価値の創出を企図</p> <p>au PAY会員を通じて決済事業を中心にau経済圏の拡大を推進しており、コロナ禍で需要増が見込まれるフードデリバリーをはじめとした飲食業界など、リアル接点を強化したい考え</p>	50億円
2021/6			<p>Better For Youの食品業へと進化する柱として、Plant Based Food (植物性プロテイン) 事業の成長を掲げ、共同開発を通じて、お互いの技術やスキルを活かし、美味しく手軽にタンパク質を摂取しながら、地球環境にも貢献していける取り組みを進めることを企図</p>	無し (業務提携)
2021/3			<p>TWO のマーケティング力や Plant Based Food メニューの開発力、店舗やオンラインでの情報発信力とカゴメの商品開発力や営業力、販売網を活用することにより、Plant Based Food の市場で両社が協調して成長していくことを企図</p>	無し (業務提携)

# 今後のテーマ① ～日本企業による更なる買収の拡大余地～

日米食品市場におけるM&Aの傾向



VS



Sources: Thomson Reuter

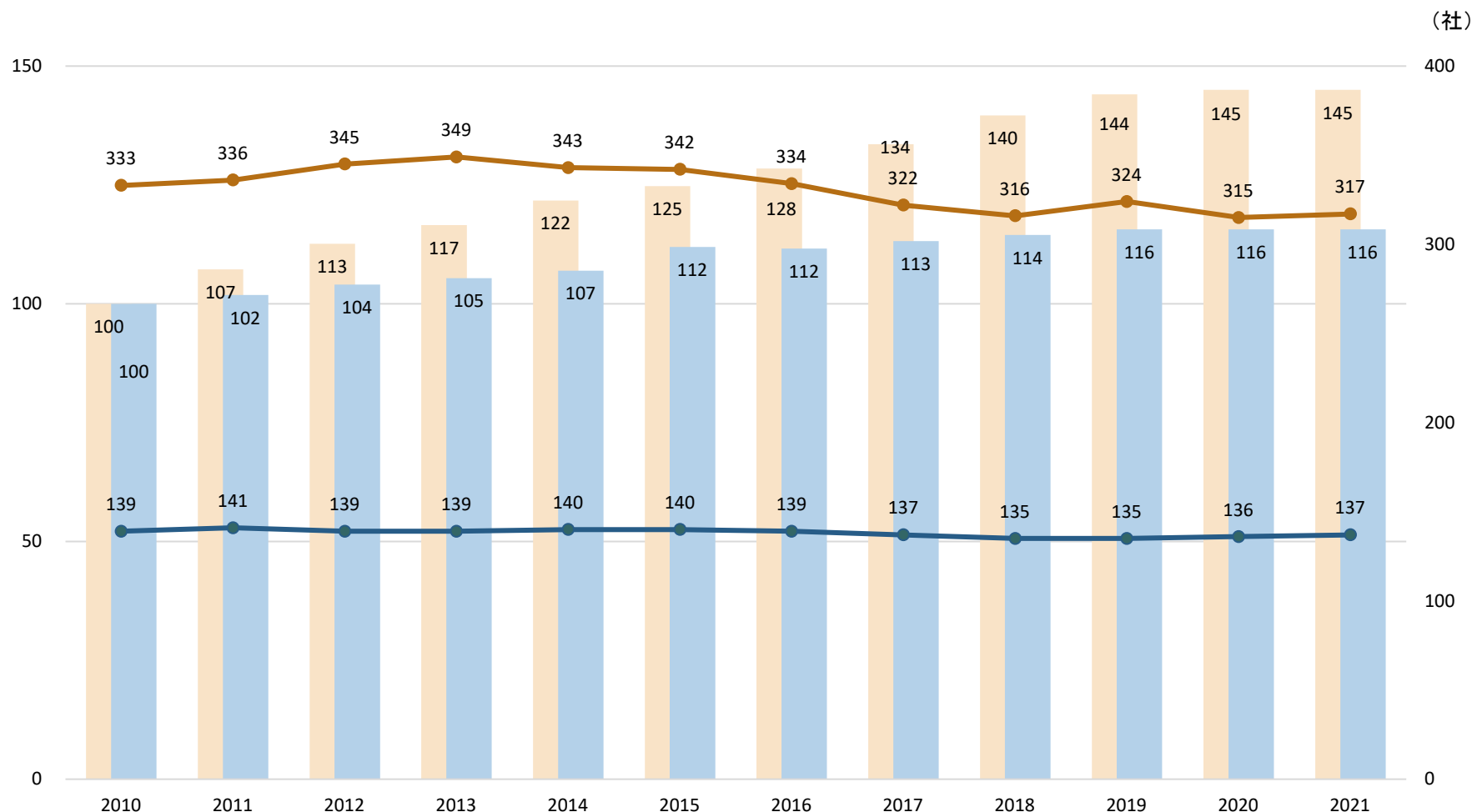
Note: 被買収業種を「Food & Beverage」とし、買手側所在国を日本・アメリカ、対象取引形態を「Acquisition, Acquisition of Asset, Acquisition of certain asset, Acquisition of majority interest, merger」としたときの件数比較

# 今後のテーマ② ～本邦食品セクターにおける今後の再編余地～

日米食品市場における企業数<sup>(1)</sup>と市場規模の推移<sup>(2)</sup>



VS



食品市場規模(2010年を100とし指数化):   ■ アメリカ   ■ 日本  
 上場食品企業企業数:   ● 日本   ● アメリカ

Sources: IMF World Economic Outlook Database, October 2021、内閣府「2019年度国民経済計算」

Note: (1) Bloomberg株式スクリーニングより、各発行体の主要銘柄の業種「飲料製造、食料品生産、たばこ・カンナビス」にて2010年より抽出

(2) 日本の市場規模は2019年以降は横置きで試算



## 食品セクターにおける弊社実績



# 主要案件実績

 <p>おいしさ、ふれあい。 <b>Itochu</b> <b>Meitogai</b></p> <p>プリマハムによる ティエムジーの買収</p> <p>プリマハムへのアドバイザー 2021年12月 クローズ</p>	 <p><b>Marubeni</b> <b>North Pacific SEAFOODS.</b></p> <p>丸紅による North Pacific Seafoodsの Canfiscoへの売却</p> <p>丸紅へのアドバイザー 2021年6月 クローズ</p>	 <p><b>MARUHA NICHIRO</b> 海といのちの未来をつくる <b>SG FOOD</b></p> <p>マルハニチロによる Sai Gon Foodの買収</p> <p>マルハニチロへのアドバイザー 2021年2月 クローズ</p>	 <p><b>ITOCHU</b> <b>C.P. POKPHAND CO. LTD.</b></p> <p>伊藤忠商事の 持分法適用会社である C.P.POKPHANDの 中国養豚事業の再編統合</p> <p>伊藤忠商事へのアドバイザー 2020年12月 クローズ</p>	 <p><b>Soso</b> ポーソー油脂株式会社 製糖ソリューション・カンパニー <b>SHOWA</b> 昭和産業</p> <p>昭和産業による株式公開買付けを 通じたポーソー油脂株式の取得</p> <p>ポーソー油脂へのアドバイザー 2020年7月 クローズ</p>	 <p><b>ITOCHU</b> <b>HyLife</b> <b>ProVista</b> AGRICULTURE <b>COMFREY FARM</b> PRIME PORK</p> <p>伊藤忠商事の持分法適用会社で あるHyLife Group Holdingsによる 加ProVistaグループ養豚事業及び 米Prime Porkの75%持分の買収</p> <p>伊藤忠商事へのアドバイザー 2020年5月 クローズ</p>
					
 <p><b>ITOCHU</b> <b>HyLife</b> <b>GPF</b></p> <p>伊藤忠商事の持分法適用会社で あるHyLife Group Holdingsの Charoen Pokphand Foodsとの ジョイント・ベンチャー化</p> <p>伊藤忠商事へのアドバイザー 2019年12月 クローズ</p>	 <p><b>UFHD</b> ユニ・ファミリーマートホールディングス <b>ドンキホーテ HLDGS</b></p> <p>ユニ・ファミリーマートホールディングスによるユニの ドンキホーテホールディングス への売却</p> <p>ユニ・ファミリーマートホールディングスへのアドバイザー 2019年1月 クローズ</p>	 <p><b>FUJI OIL HOLDINGS INC.</b> <b>Blommer</b> CHOCOLATE COMPANY</p> <p>不二製油グループ本社による Blommer Chocolateの買収</p> <p>不二製油グループ本社への アドバイザー 2019年1月 クローズ</p>	 <p><b>IZ Capital</b> <b>Sweet Style</b> ミツウロコグループホールディングス</p> <p>アイ・シグマ・キャピタルが保有する スイートスタイルのミツウロコグループ ホールディングスへの売却</p> <p>アイ・シグマ・キャピタルへの アドバイザー 2017年4月 クローズ</p>	 <p><b>FUJI OIL</b> <b>GCB</b> SPECIALTY CHOCOLATES SBN, BHD.</p> <p>不二製油による GCB Specialty Chocolatesの買収</p> <p>不二製油へのアドバイザー 2016年8月 クローズ</p>	 <p><b>ヤマザキ</b> <b>BAKEWISE</b> BRANDS™</p> <p>山崎製パンによる Bakewise Brandsの買収</p> <p>山崎製パンへのアドバイザー 2016年7月 クローズ</p>
					
 <p><b>KATO</b> <b>TOGICO</b></p> <p>加藤産業による Toan Gia Hiep Phuoc Trading and Food Processing Joint Stock Company の買収</p> <p>加藤産業へのアドバイザー 2016年7月 クローズ</p>	 <p><b>kikkoman</b> <b>理研ビタミン株式会社</b></p> <p>キッコーマンが保有する 株式の自己株公開買付けに伴う 持分譲渡</p> <p>キッコーマンへのアドバイザー 2016年6月 クローズ</p>	 <p><b>Wendy's</b> THE LONGREACH GROUP <b>First Kitchen</b></p> <p>ロングリーチグループを スポンサーとしたウェンディーズ・ ジャパンによるファーストキッチンの 買収</p> <p>ウェンディーズ・ジャパンへの アドバイザー 2016年6月 クローズ</p>	 <p><b>DyDo</b> <b>MAMEE</b></p> <p>ダイドードリンクコによる Mamee Double-Deckerとの 資本業務提携</p> <p>ダイドードリンクコへの アドバイザー 2015年12月 クローズ</p>	 <p><b>JT</b> <b>SUNTORY</b></p> <p>日本たばこ産業が保有する飲料 自販機オペレーター事業子会社の 株式譲渡及び 清涼飲料ブランドの譲渡</p> <p>日本たばこ産業への アドバイザー 2015年7月 クローズ</p>	 <p><b>FUJI OIL</b> <b>Harald</b></p> <p>不二製油によるHarald Indústria e Comércio de Alimentosの買収</p> <p>不二製油へのアドバイザー 2015年6月 クローズ</p>
					

## 留意事項

本プレゼンテーションは、GCA株式会社およびGCAアドバイザーズ株式会社（以下「GCA」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーション及びその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。GCAならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、GCAは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセル、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。